東淀川区医師会
平成27年度
がん対策セミナーのご案内

人口の急速な高齢化が進んでいる日本では、生涯のうちに何らかのがんに罹患することはもはや普通のことになっており、その確率は国立がんセンターのデータによれば男性で62%、女性で46%と推計されています。がんに罹患しても早期であれば完治できるがんも多くあり、そのようながんでは早期に発見するためのしくみ、すなわち健診が重要になってきます。住民検診のような対策型検診では胃がん検診（X線造影検査）、大腸がん検診（便潜血検査）、肺がん検診（胸部X線検査）、乳がん検診（視触診・乳房X線検査）、子宮頸がん検診（細胞診）が行われています。人間ドックのような任意型検診では内視鏡検査や腹部超音波検査、CT検査なども行われています。今回は、消化器がんを中心にがん検診の意義や具体的な方法、効果などについてお話いたします。

記

日時 平成27年7月8日（水）　午後2時～

会場 東淀川区医師会館 3階講堂（東淀川区豊新2-3-7）

演題 『がん健診について（消化器がんを中心に）』

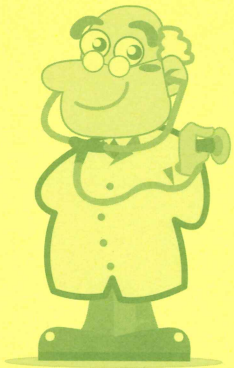
淀川キリスト教病院
健康管理増進センター　センター長　藤田　剛 先生

対象者 東淀川区民（先着40名）

参加ご希望の方は 事前に
東淀川区医師会まで
お電話にてお申込下さい。

☎ 6320－2226

入場は
無料です



主催：東淀川区医師会